

視察報告

実施日 令和7年10月20日(月)～10月21日(火)

視察事項

●岡山県総社市

ひきこもり支援事業について

●奈良県大和郡山市

不登校対策総合プログラムについて



大和郡山市にて説明を受けるようす

参加者

広山清志 丸橋ユキ 金子広和 大沢えみ子 土方隆司 福田 正 太田博希

●岡山県総社市

ひきこもり支援事業について

総社市では、「ひきこもり」を地域社会全体の課題ととらえ、市の独自事業として取り組んでいます。具体的には、以下の取り組みを行っています。

- ①ひきこもり支援センター「ワンタッチ」。
専門の相談員（社会福祉士）による訪問・電話・メールでの相談対応
- ②常設の居場所「ほっとタッチ」。一軒家を借り上げ、当事者の「常設居場所」を開設
- ③ひきこもり家族会「ほっとタッチの会」。
ひきこもり当事者が家族にいる人たちの当事者組織
- ④2カ所目の常設居場所「ほっとタッチばえむ」を開設

これらの居場所を確保した上で、市と社会福祉協議会が連携し、多層的な支援体制により対応しています。

ひきこもり支援は、短期的な成果で評価するものではなく、恒常的に継続して取り組むべきものと感じました。



総社市にて説明を受けるようす

●奈良県大和郡山市

不登校対策総合プログラムについて

大和郡山市では、不登校対策総合プログラムとして、不登校にならないための取り組みと、なった場合の取り組み、の二本柱として取り組んでいます。

不登校にならないための取り組みとしては、学校を楽しい場所にするため、授業改善、学習支援、いじめを許さない等の環境づくりと、未然防止・初期対応ができる組織体制をつくっています。

教室に入りづらい児童生徒には、各校に校内教育支援センターを整備し、校内で安心して過ごせる居場所づくりを行うとともに、家庭と学校の良い関係にも力を入れています。不登校になった児童生徒には、市立郡山北小学校・郡山中学校の分教室の、不登校特例の学科指導教室「ASU」を開室し、体験を重視した教育活動や個別支援を行っており、目標は「学校に戻る事」ではなく「子どもが元気になること」として高等進学等、次のステップへの自信を取り戻す支援を行っています。

不登校対策はASUだけに集約するものではなく、学校全体の質を高める取り組みとして位置づけられている点が印象に残りました。